

東京新聞

夕刊
中日新聞東京本社
東京都千代田区千代田二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211



紙面から
CIA元職員を訴追 2
三陸鉄道復旧の軌跡描く 3
告示後ネット書き込み増 7

働く妊婦いじめ深刻

妊娠した女性に退職を迫ったり、心無い言葉をかけたりする「マタニティー・ハラスメント(マタハラ)」が職場で深刻な問題になっている。連合の今年の調査では四人に一人に相当する26%が経験したと回答。ストレスが流産につながる恐れもある。立場の弱い非正規労働者が増えたことも背景にある。

マタニティー・ハラスメント



では、妊娠経験者二百十六人のうち26%がマタハラを受けていた。多いのは「心無い言葉」「解雇や契約打ち切り、自主退職への誘導」。「重いものを持たせられたり、目の前でたばこを吸われたりした」との声もある。

心無い言葉、退職迫る 26%が経験

東京都内に住むマタハラを「クビにする材料」を探している」と社内名前は二年前、妊娠をのうわさ話が入り「女性を苦しめている報告した時の社長の冷たい。精神的に参って、いやかな言葉が忘れられ、帰宅中に激しい腹痛がした。切迫流産されたことを知らぬ間に家にいない。辞めた。無事に出産は出来たが、一線から外に出せない非正規の人。現場のリーダー格だ。され退職を決めた。子ども多い」と話す。

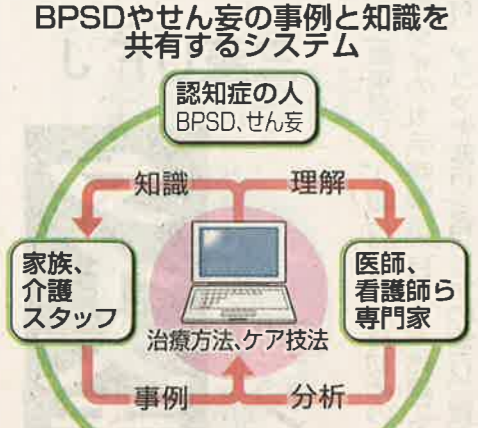


富士山などのデザインが手作業で削り出された江戸切子の風鈴やガラス。22日、東京都江東区亀戸で(戸田泰雅撮影)

背景に非正規増
「ルボ職場流産」の関係などのストレス。は子育て対策には目が著者でジャーナリストの切迫流産の引き金にも向いているが、産むまの小林美希さんは「授かる。疲れたら我慢での支援が足りない」だった命を失う人もい。せす休める環境にいる。女性労働協会(東京都港区)の小林恭子さんの余裕がないことが。マタハラに詳しい立んは「企業に健康への問題」と指摘する。母子愛育会総合母子 杉浦浩美さんは「女は配慮をさせるには、保健センター(東京都 大きなおなかをしてまばならない。都道府県区)所長の小林正雄で働かなくてもいい」労働局の雇用均等室に医師によると、妊娠中という日本社会の考えも相談してほしい」とは、最も悪いのが人間 方を問題視する。「国 助言している。」

富士輝く
江戸切子風鈴
夏本番を前に、東京都江東区亀戸の江戸切子製造販売店「彩り硝子工芸」では、ガラスを削って模様を描く伝統工芸、江戸切子の風鈴作りが進んでいる。二十二日にも世界文化遺産に登録される見通しの富士山や東京スカイツリーなどを、研磨機で風鈴やガラスに描く作業が続く。「富士山は彫るたびに、次はどうしようかと考える。出来上がった時の感動がうれしい」と二代目の熊倉憲二さん(66)。同店では予約すれば見学や体験もできる。

AIで支える認知症



知識ウェブで共有

「知らない人が部屋に入ってきて、通帳を盗んだ」と叫び、殴り掛かってくる。判断力が低下し、混乱した認知症の人の暴言や暴行などは、行動心理症状(BPSD)と呼ばれる。このとき、幻覚を見て興奮するなどの「せん妄」状態のことが多いとされる。

介護の難題 垣根越え
BPSDやせん妄の事例を共有するシステム

Weather forecast table for various regions including Tokyo, Kanagawa, and Chiba, showing temperature ranges and weather icons.

関西学院大学
22日 9時
快晴 晴